

令和4年度

事業報告書

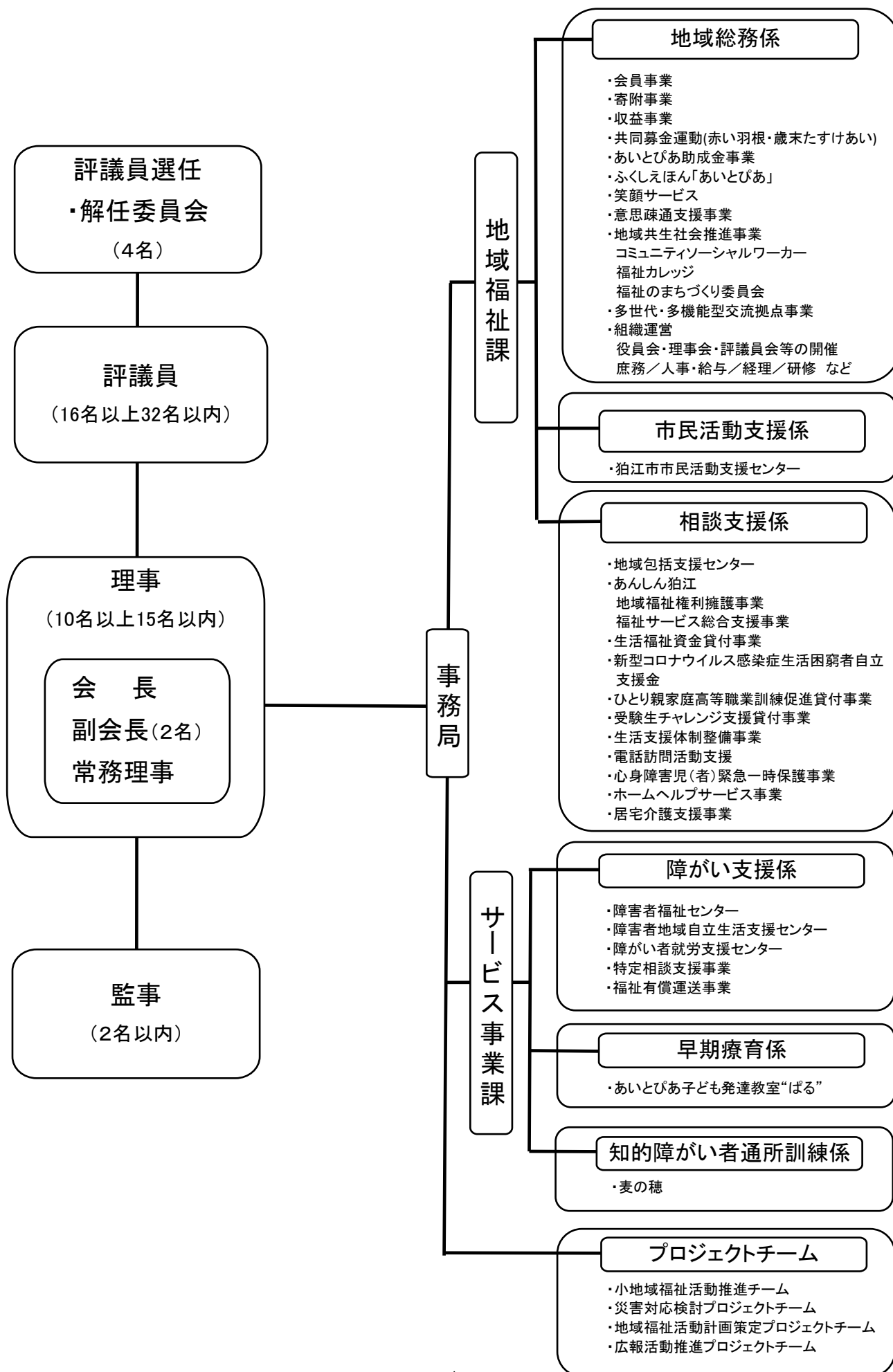
社会福祉法人 狛江市社会福祉協議会

目次

■令和4年度社会福祉法人狛江市社会福祉協議会組織図	1
■令和4年度社会福祉法人狛江市社会福祉協議会事業報告	
総括	2
(重点事業)	
1 コミュニティソーシャルワーカーによる支援	4
2 福祉カレッジの開催	7
3 福祉のまちづくり委員会の設置	9
■令和4年度社会福祉法人狛江市社会福祉協議会事業実施報告	
(地域福祉課地域総務係)	
会員事業	10
寄附事業	10
収益事業	10
共同募金運動	10
あいとびあ助成金事業	11
ふくしえほん「あいとびあ」	11
笑顔サービス	11
意思疎通支援事業	12
地域共生社会推進事業	14
多世代・多機能型交流拠点事業	14
理事会等の開催	14
情報発信	14
労働安全衛生関係	15
(地域福祉課市民活動支援係)	
市民活動支援センターこまえくぼ1234	16
(地域福祉課相談支援係)	
地域包括支援センター	18
あんしん狛江	18
生活福祉資金貸付事業	19
新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金	20
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	20
受験生チャレンジ支援貸付事業	20
生活支援体制整備事業	21
電話訪問活動支援	21
心身障害児(者)緊急一時保護事業	21
ホームヘルプサービス事業	21
居宅介護支援事業	22
(サービス事業課障がい支援係)	
障害者福祉センター	23
障害者地域自立生活支援センター サポート	23
障がい者就労支援センター サポート	24
特定相談支援事業	25
福祉有償運送事業	25
(サービス事業課早期療育係)	
あいとびあ子ども発達教室“ぱる”	26
(サービス事業課知的障がい者通所訓練係)	
生活介護事業 麦の穂	27
(プロジェクトチーム等)	
小地域福祉活動の推進	29
災害時の対応	29
地域福祉活動計画の進捗管理関係(地域福祉活動計画策定プロジェクトチーム)	30
広報活動	30
(その他)	
事業のあり方検討委員会	30
狛江市社会福祉法人連絡会への参画	30
実習生受入れ	30

※事業報告書は、定款第39条に定める「事業報告の附属明細書」の内容を含んでいます。

令和4年度 社会福祉法人狛江市社会福祉協議会 組織図



令和4年度社会福祉法人狛江市社会福祉協議会事業報告

令和4年度基本方針

令和4年4月から、狛江市において、包括的支援体制の整備として「断らない相談」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に行う「重層的支援体制整備事業」が開始されます。

重層的支援体制整備を進めるためには、行政や関係団体のみならず地域住民同士がであい参加することができる場や居場所の確保などを通して、交流や参加の機会を作りだす地域づくりに向けた支援がより重要になってきます。

このような状況の中、狛江市社会福祉協議会では第3次地域福祉活動計画に基づき、地域支援に重点を置いた取組みを進めます。

一つ目の重点的な取組みであるコミュニティソーシャルワーカーによる支援については、3つのエリアに職員を配置し、市内全域に対して支援を行います。

また、こまえ苑エリアにおいては、複数の関係団体と協働して実施する多世代交流拠点の開設準備を進めます。

二つ目の重点的な取組みである福祉カレッジの開催については、定期開催を通して新たな人材の掘り起こしを行い、福祉のまちづくり委員会へつなげることで、エリア内での住民の地域活動を促進し、福祉のまちづくり委員会の運営を安定的なものとしていきます。

三つ目の重点的な取組みである福祉のまちづくり委員会については、こまえ苑エリアでの立ち上げに続き、こまえ正吉苑エリア及びあいとびあエリアでも委員会の立ち上げを支援します。地域住民が地域の生活課題を共有し、地域住民の視点から課題の解決に取り組めるような仕組みづくりを地域住民や関係機関と共に進めていきます。

また、地域共生社会の実現のために、社会福祉協議会の経営資源を今以上に地域づくりに関わる事業に集中させるために、社会福祉協議会内に「事業のあり方検討委員会」を設置し、既存事業の課題整理及び事業見直しを進め、第4次地域福祉活動計画策定へつなげていきます。

◆総括◆

令和4年4月から、狛江市において重層的支援体制整備事業が実施されたことに伴い、狛江市社会福祉協議会では、地域福祉活動計画の重点事業を中心に地域支援を意識した事業を展開しました。

一つ目の重点的な取組みであるコミュニティソーシャルワーカーによる支援については、市内の3エリアにコミュニティソーシャルワーカーを配置し、重層的支援体制整備事業の「アウトリーチ等事業」や「地域づくり事業」を実施しました。特にこまえ苑エリアでは、高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターと、市内で子育て支援の活動を展開している団体等と協力して、多世代・多機能型交流拠点「ふらっとなんぶ」の開設準備を進めました。「ふらっとなんぶ」は、子どもから高齢者まで地域住民がいつでも気軽に集いゆるやかに出会い関わり合うことができる新たな居場所として、活動を開始しています。

二つ目の重点的な取組みである福祉カレッジの開催は、重層的支援体制整備事業の「地域づくり事業」に該当し、地域づくりの基盤となる地域人材の育成を行いました。令和4年度は、学習プログラムを変更し、受講生が地域で解決したい課題をグループワークで出し合い、受講生がカレッジ修了後に取り組みたい企画案を発表し、企画案を市

民活動支援センターで掲示することで、新たに市民活動を始めるきっかけとなるように展開しました。

三つ目の重点的な取組みである福祉のまちづくり委員会の設置は、重層的支援体制整備事業の「地域づくり事業」に該当し、地域の関係者が地域課題を共有し課題解決を話し合うプラットフォームの役割を担っています。コミュニティソーシャルワーカーがエリアごとの委員会活動の支援を行いましたが、エリア単位で解決することが難しい地域課題に関しては、市域で話し合う場として、新たに福祉のまちづくり協議委員会を設置して協議を行いました。

また、社会福祉協議会の経営資源を地域づくりに関わる事業へ集中させていくために、「事業のあり方検討委員会」を設置し、既存事業の見直しと新たな地域課題の検討を行いました。

◆重点事業◆

1 コミュニティソーシャルワーカーによる支援

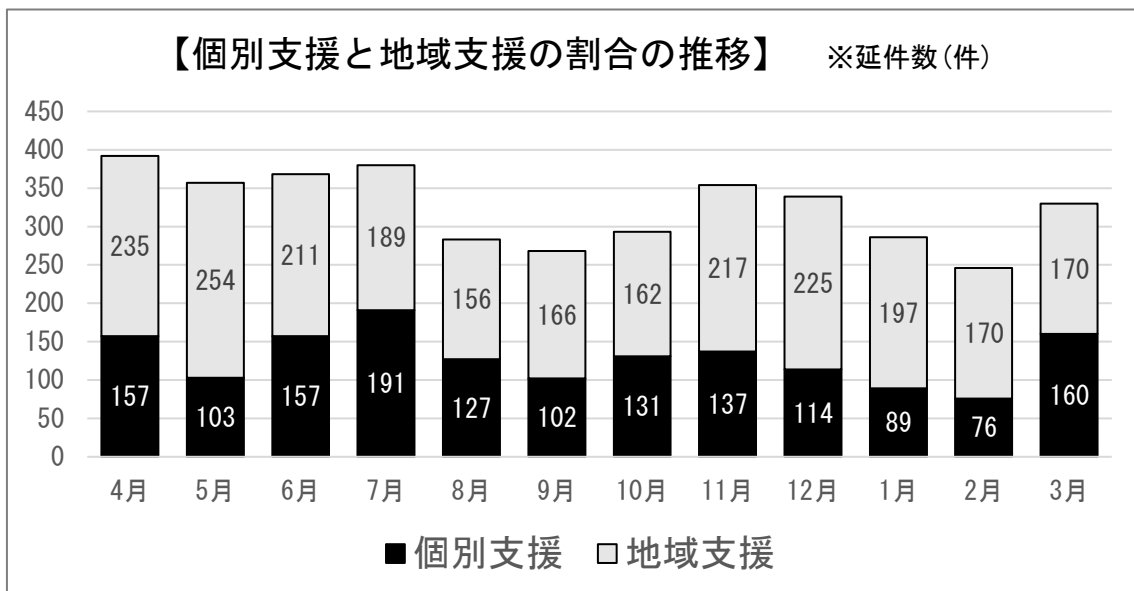
コミュニティソーシャルワーカーを配置して5年目となる令和4年度は、3つのエリアに1名ずつコミュニティソーシャルワーカーを配置することができました。

個別支援の相談対応実数は170名延1,544回(令和3年度は131名延964回)と増加しました。支援の対象としては、ひきこもり状態にある方への支援が最も多く、次に高齢者(介護保険の支援以外)となっています。相談対応時の連携先は、市民活動者・団体が最も多く、次いで地域包括支援センター、障がい者支援事業所の順でした。

主にシニア世代からの困りごととして、スマートフォンの使い方に関する内容もしばしば受けていたことから、引き続き企業とコミュニティソーシャルワーカーが連携し「スマホと生活のよろず相談会」を地域に出向いて実施しました。

地域支援の相談対応実数は90件延2,352回(令和3年度は44件延2,279回)と増加しました。内容は居場所に関するものが多く、こまえ苑エリアでは、令和5年3月にオープンした狛江市多世代・多機能型交流拠点ふらっとなんぶの開設準備に関する相談の割合が多くを占めています。その他、福祉カレッジ修了生の提案で、「地域の障がい理解の不足」に関する課題を解決する取り組みとして「わたしたちはここにいるよプロジェクトパラアート展企画」の実施および市民団体化の伴走支援に携わりました。

個別支援及び地域支援の相談件数の内訳等は以下のグラフのとおりです。

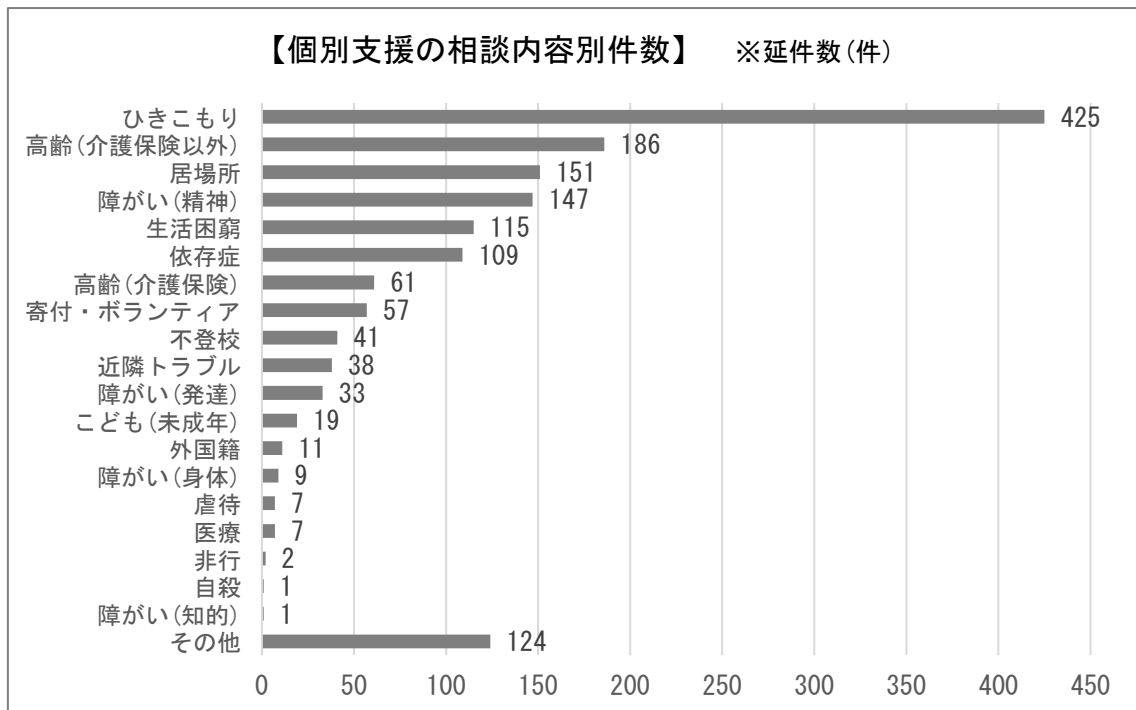
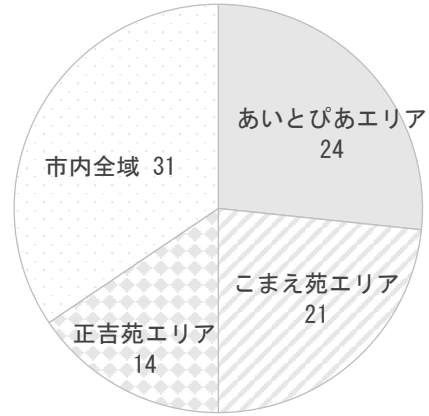
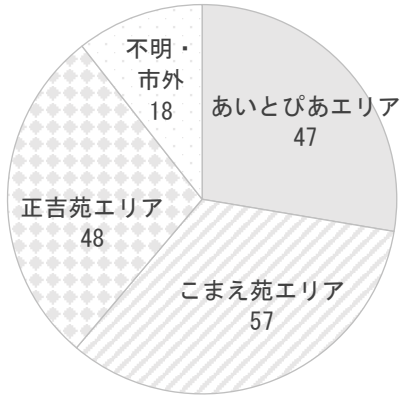


※個別支援とは、公的なサービスや地域の支援だけでは解決しきれないニーズや課題を受け止め、対象者に寄り添いながら解決に向けた支援をすること。

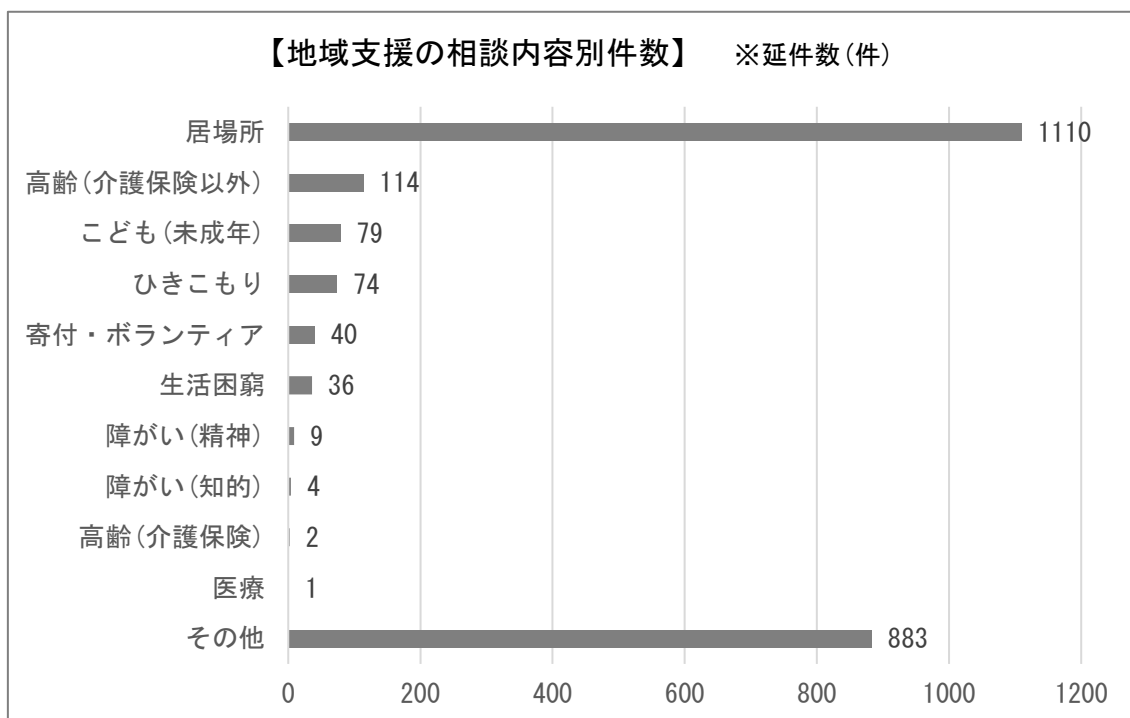
地域支援とは、地域の関係機関や団体と連携・協力し、そのネットワーク化を図りながら、地域の課題解決力を向上させること。

【エリア別個別支援数※実人数(単位：人)】

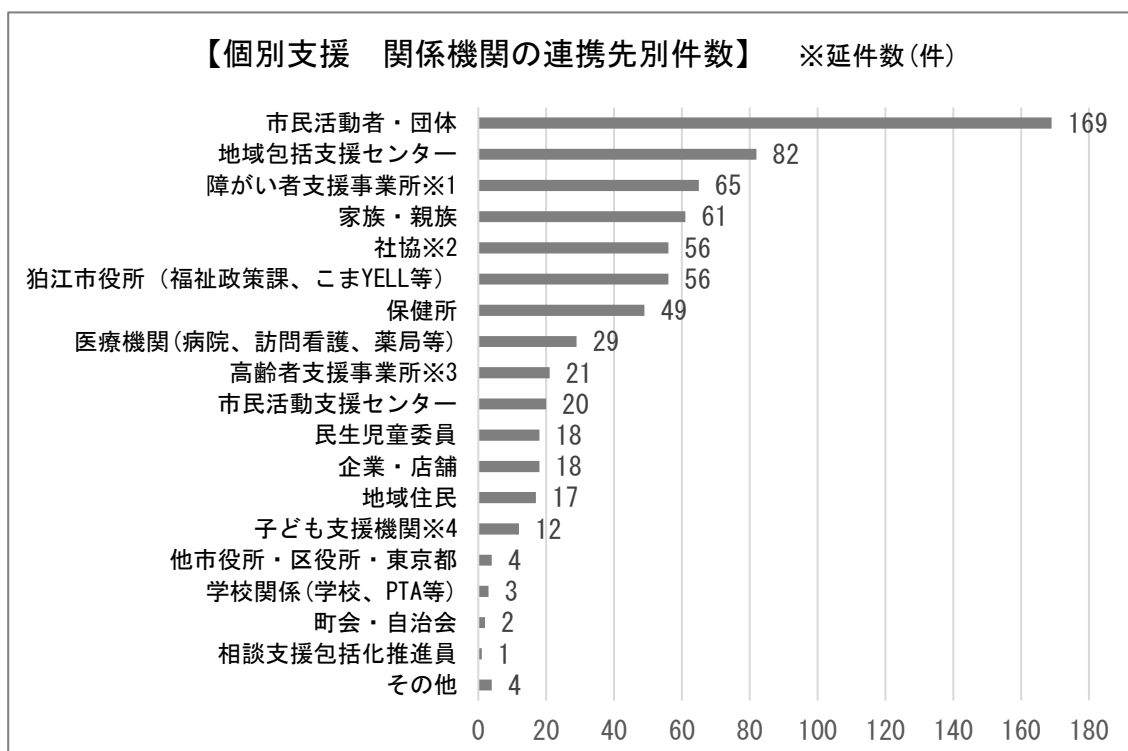
【エリア別地域支援数※実件数(単位：件)】



※その他…地域貢献、住まいの問題、家族関係に関する事など



※その他…町会・自治会の運営支援、市民による障がい理解のためのプロジェクト、事業所の地域貢献活動など



※1…サポート、就労支援事業所、グループホーム等

※2…総務、あんしん粕江、笑顔サービス等、他社協も含む

※3…こまほっとシルバー相談室、居宅介護支援事業所、特養、デイサービス等

※4…子ども家庭支援センター、スクールソーシャルワーカー、児童館等

2 福祉カレッジの開催

令和4年度の福祉カレッジは、定員20名に対して19名の申し込みがあり、17名が修了しました。カリキュラムには、新たに外国籍やLGBTQの方々への支援など新たなテーマを加えました。講師には、市民活動で活躍されている方や当事者の方を迎え、体験談なども踏まえた実践的な内容としました。

最終日には受講生が福祉カレッジの受講を通じて課題だと感じた内容について、その解決に向けて地域で取り組めると思うことを発表しました。福祉カレッジが終了した後もコミュニティソーシャルワーカーが受講生との関りを継続し、受講生が発表した企画を市民活動支援センター内やホームページで公表し、企画を実際に展開するための支援を行っています。

福祉カレッジ終了後には、受講生にアンケートを実施しました。講義全体の満足度は、「満足」が70%、「やや満足」が24%で、多くの受講生が講義について満足であると感じていました。また、受講したことでご自身の中で変化したことについて、次のような回答がありました。

- ・受講したことで色々な気づきがあり、世界が広がった感じがする。
- ・今まで、日常生活では仕事に関することばかりにアンテナを張っていたが、地域や社会のことにもアンテナを張り、気にするようになった。
- ・障がい者の方が感じている生きづらさは個人ではなく、社会の側にあるということが分かり、自身の行動を考えさせられた。
- ・福祉カレッジでの交流を通し、多くの方が様々な取り組みをしていることにとても刺激を受けた。福祉の話は何となく偽善的に見えてしまうのではないかと感じ、躊躇してしまい気軽に話せていないが、その意識を自身が変えていかなければと思う。
- ・人と面と向かって話すことの大切さを再認識した。また、自分ができることを少しでもやりたいと思った。
- ・興味はあったが具体的に何かをするという事ではなかった。受講者の方に勧められ、受講したが、視野を広げるきっかけになり感謝している。
- ・自分にできることをやること、その一歩を踏み出すことが大事であると実感した。受講前は那一歩が踏み出せなかった。やれることをやることが世の中を変えると思う。
- ・気合は入ったが、大きな変化はなかった。
- ・地域包括支援センターを気軽に利用していきたい。
- ・障がい者、外国人、LGBTQなど、今まで以上に詳しく知る機会になり、その方を支えている人がいるということも新たな認識となった。
- ・福祉に関して今までは知らないことが多かったが、学んで考えることで自分の関心が広がっていった。図書館などで福祉に関する書籍を見つけると読んでみようと思ったり、狛江市内で活動している福祉団体の活動に関心が向くようになったりした。また、福祉カレッジの受講生の皆様との出会いが嬉しかった。

【福祉カレッジ 2022 カリキュラム】

回	日にち	内容	講師
1	9月3日	福祉カレッジ2022のオリエンテーションや受講生同士の交流を行います	福祉カレッジ修了生 片山 寧彦 氏 福祉カレッジ修了生 今西 千晶 氏
2	9月10日	狛江市社会福祉協議会の概要や取り組みについて学びます	社会福祉法人狛江市社会福祉協議会 事務局長 小楠 寿和 地域福祉課 地域総務係 大塚 隆人
3	9月24日	コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の役割と実践事例を学びます	社会福祉法人狛江市社会福祉協議会 コミュニティソーシャルワーカー (CSW)
4	10月1日	地域包括支援センターの概要と高齢活動者からのお話を伺います	社会福祉法人狛江市社会福祉協議会 あいとぴあ地域包括支援センター 大谷 美樹
5	10月8日	障がい当事者のお話を伺い、社会モデルの視点を学びます	社会福祉法人もくば会 八王子地域生活支援室高尾 高江洲 幸男 氏
6	10月22日	狛江市の生活困窮者支援について学びます	狛江市自立相談事業 こま YELL 特定非営利活動法人 フードバンク狛江 田中 究 氏
7	10月29日	「やさしい日本語」の歴史や暮らしの中での大切さを学びます	特定非営利活動法人 国際活動市民中心 CINGA 新居 みどり 氏
8	11月5日	LGBTQ についての正しい理解と地域住民としてできることを学びます	特定非営利活動法人 LGBT の家族と友人をつなぐ会 三輪 美和子 氏
9	11月12日	空き家を活用した多世代交流の居場所について、活動者からお話を伺うと共に、ボランティア・市民活動について学びます	よしこさん家 増村 聖智子 氏 comarch 梶川 朋 氏 狛江市市民活動支援センター 大山 寛人
10	12月3日	地域・福祉課題を解決するための企画の提案を実施	

【福祉カレッジ 2022 の様子】



3 福祉のまちづくり委員会の設置

令和4年度は、3エリアでそれぞれ委員会の活動を実施しました。委員は福祉カレッジ修了生が中心となり、関係者とともに課題の解決について検討を行いました。活動内容は、まち歩きや懇談会など、各委員会が決定した内容で実施しました。

各委員会で解決していくことが難しい課題については、高齢、障がい、防災などに関する専門的な視点からの情報提供を受け、地域アセスメントを行う福祉のまちづくり協議委員会を10月に発足させ、令和5年度から本委員会において対応を検討していきます。

【こまえ苑エリア】いこいねっと ※令和3年8月から活動開始

定例会6回、役員会4回開催

【あいとぴあエリア】和泉手つなぎ会 ※令和4年1月から活動開始

定例会5回開催、代表副代表会5回、その他活動3回

【こまえ正吉苑エリア】のがわのわ ※令和4年1月から活動開始

定例会11回開催



いこいねっと 課題検討の様子



和泉手つなぎ会 課題検討の様子



のがわのわ まち歩きの様子

令和4年度社会福祉法人狛江市社会福祉協議会事業実施報告

課・係	事業内容	【 】内は令和3年度実績
地域福祉課地域総務係		
会員事業		
<p>①社会福祉協議会会員制度</p> <p>○会費収入 2,867,000円【2,958,000円】</p> <p>※1,000円単位で任意の増額あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つつじ会員（1口 1,000円） 1,694件【1,759件】 ・いちよう会員（1口10,000円） 71件【69件】 ・さくら会員（1口 30,000円） 10件【10件】 <p>○会員増強月間の取組（7月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力委員による個別訪問の実施 ・前年度会員等へのダイレクトメール送付 ・社協だより192号での入会案内（払込取扱票の添付）（7/1発行 45,000部） ・地域センター等へのパンフレット設置 ・「コミュニティソーシャルワーカーの地域のちょこっと相談会」での入会受付対応 <p>②会員制度協賛店事業</p> <p>○協賛店登録数 71店【67店】</p>		
寄附事業		
<p>○一般寄附金（物品寄附を含む） 72件 26,717,255円【66件 908,390円】</p> <p>○指定寄附金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいとぴあ基金 0件 0円【2件 10,916円】 ・誕生日募金 1件 10,000円【2件 30,000円】 ・その他の指定寄附金収入 12件 236,992円【18件 106,876円】 <p>※あいとぴあ基金積立金累計額（令和5年3月末）98,997,201円【98,982,976円】</p>		
収益事業		
<p>①こまちゃんタオルハンカチの販売 146枚【27枚】 （大）クリーム25枚、ピンク22枚、ブルー26枚） （小）ピンク38枚、ライトブルー35枚）</p> <p>②こまちゃんTシャツの販売 4枚【1枚】</p> <p>③社協だよりへの広告掲載 6枠【2枠】</p> <p>④ホームページへの広告掲載 1件【1件】</p>		
共同募金運動（赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動）		
<p>地域福祉の推進を目的とする「共同募金」の一環として次の運動を実施した。</p> <p>①赤い羽根共同募金運動（10/1～10/31）</p> <p>募金総額 605,315円【596,625円】</p> <p>※東京都共同募金会狛江地区協力会として実施</p> <p>街頭募金実施回数 3回【2回】</p> <p>参加団体数及び人数 10団体 54名【6団体 54名】</p> <div data-bbox="1252 1854 1497 2033" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1236 2038 1484 2094">少年野球チームの子どもたちが呼びかける街頭募金</p>		

課・係	事業内容	【 】内は令和3年度実績
地域福祉課地域総務係		
共同募金運動（赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動）		
②歳末たすけあい運動（12/1～12/31） 募金総額 2,300,723円【2,444,752円】 街頭募金実施回数 2回【2回】 参加団体数及び人数 9団体 25名【7団体 41名】		
あいとぴあ助成金事業		
<助成団体> ○町会・自治会等 覚東町会、元和泉2・3丁目町会 ○施設・団体等 狛江市老人クラブ連合会、こまこま☆子ども食堂、タルトタタン NPO法人ハッピーライフフォーエバー NPO法人バリアフリーセンター・福祉ネット「ナナの家」 <p style="text-align: right;">合計7団体に547,000円を助成 【7団体 510,000円】</p>		
ふくしえほん「あいとぴあ」		
①ふくしえほん ○ふくしえほん「あいとぴあ」の発行 市内幼稚園及び保育園に通う5歳児683名に配付【666名】 ○活用委員会 4回【4回】 ○担当職員研修会 3回【2回】 ・第1回（5/25） 講義・体験「聞こえないことについて、手話体験、手話動画DVD視聴」 講師：狛江手話サークル昼の部 令和4年度福祉教育研究園報告 ・第2回（10/12） 講義・体験「視覚障がいと生活の工夫やサポートについて」 講師：伊藤聡子氏（狛江視覚障害者の会） ・第3回（1/18） 福祉教育研究園による取組みの報告 ○福祉教育研究園 指定園 いずみ保育園 ②保育園及び幼稚園との連携 体験、見学、コーディネーター等の相談 10件【8件】		
笑顔サービス		
①サービス実績等 ○利用会員登録数 268名【246名】 ○協力会員登録数 80名【78名】 ○新規利用相談件数 98件【103件】 ○サービス提供件数 3,989件【4,159件】 ○サービス提供時間 5,566時間【5,806時間】 ○笑顔のひろばの発行（会員向け広報紙） 4回【4回】		

地域福祉課地域総務係

笑顔サービス

②説明会・研修等

- 協力会員募集説明会 9回【9回】
- 協力会員新任研修 7回【6回】
- 協力会員現任研修 2回【2回】
 - ・上手な聴き方を学ぼう（7/11）
参加者 9名
講師 佐山 忠正 氏（傾聴ボランティア）
 - ・片づけ講座（10/17）
参加者 13名
講師 永井 美穂 氏（片づけヘルパー）

③事業の周知

- 協力会員募集ポスターの掲示、チラシの設置
こまえくぼ1234、地域センター、公民館、市民総合体育館、イトーヨーカドー国領店
OK狛江中和泉店 10回【9回】
- 社協だより掲載 全戸配布
- 市内転入者へのチラシ配布 3,000部【3,000部】
- 公式ツイッターによる情報発信 8回【0回】

<訪問型サービスB> ※市委託事業

サービス実績等

- 利用者登録数 6名【7名】
- 活動者登録数 80名【78名】
- ※笑顔サービス協力会員と重複
- 新規利用相談（問合せ含む） 1件【1件】
- サービス提供件数 333件【441件】

意思疎通支援事業 ※市委託事業

①通訳者の派遣

- 派遣件数
 - 手話通訳 366件（うち26件は事業内派遣）【465件】
 - 要約筆記 19件（うち12件は事業内派遣）【28件】
- 登録通訳者
 - 手話通訳 23名【25名】
 - 要約筆記 29名【29名】
 - （うち9名は手書きのみ、12名はPCのみ、8名は手書き・PC両方）

②運営・スタッフ会議

- 手話運営委員会 6回【6回】
- 手話講習会スタッフ会議 4回【3回】
- 要約筆記運営委員会 6回【6回】
- 要約筆記講習会スタッフ会議 5回【4回】

地域福祉課地域総務係

意思疎通支援事業 ※市委託事業

③通訳者研修

○手話通訳者研修会 11回【9回】

- ・4/19 あいとぴあセンター
- ・5/17 あいとぴあセンター
- ・6/13 あいとぴあセンター
- ・7/30 あいとぴあセンター
- ・8/29 あいとぴあセンター
- ・9/26 あいとぴあセンター
- ・10/18 あいとぴあセンター
- ・11/28 あいとぴあセンター
- ・12/19 あいとぴあセンター
- ・1/23 あいとぴあセンター
- ・2/11 積雪のため中止
- ・3/20 あいとぴあセンター

○要約筆記者研修会 8回【8回】

- ・6/11 あいとぴあセンター
- ・7/9 あいとぴあセンター
- ・7/15 あいとぴあセンター
- ・9/10 あいとぴあセンター
- ・10/22 あいとぴあセンター
- ・11/18 オンライン(Zoom)
- ・1/14 オンライン(Zoom)
- ・2/17 あいとぴあセンター

④通訳者養成講習

○手話講習会

- ・初級コース
 受講生 9名 修了生 6名【申込者 11名 修了生 11名】
- ・中級コース
 受講生 10名 修了生 7名【申込者 5名 修了生 5名】
- ・上級コース
 受講生 5名 修了生 3名【申込者 5名 修了生 5名】
- ・養成コース
 受講生 10名(内6名再受講) 修了生 4名【申込者 6名 修了生 5名】

○手話入門講座

- 全5回【5回】
- ・受講生 16名【8名】

○手話通訳者全国統一試験フォローアップ講座

- 全5回【5回】
- ・受講生 7名【4名】

○要約筆記講習会<パソコン要約筆記講習会>

- ・受講生 2名 修了生 2名【申込者 2名 修了生 2名】

○要約筆記講習会フォローアップ研修<パソコン要約筆記>

- ・受講生 2名 修了生 2名【申込者 2名 修了生 2名】

地域福祉課地域総務係

地域共生社会推進事業 ※市委託事業

- ①コミュニティソーシャルワーカーの配置
 - 個別支援 相談対応実数170名、相談対応延1,544回 【131名 964回】
 - 地域支援 相談対応実数90件、相談対応延2,352回 【44件 2,279回】
 - スーパービジョン 3回 【1回】

- ②福祉カレッジの開催
 - 日程 9/3～12/3 各回土曜 全10回 10時～12時
 - 会場 あいとぴあセンター
 - 内容 オリエンテーション、高齢、障がい、生活困窮、LGBTQ、外国人問題、多世代交流など全10回の講座を実施(一部オンラインにて実施)
 - 受講生 19名 【13名】
 - 修了生 17名 【13名】

- ③福祉のまちづくり委員会の設置
 - こまえ苑エリア 委員会いこいねっと(令和3年8月から開始)
定例会6回開催、役員会4回 【定例会4回開催、世話人会4回、その他活動4回】
 - あいとぴあエリア 和泉手つなぎ会(令和4年1月から開始)
定例会5回開催、代表副代表会5回、その他活動3回 【定例会2回開催】
 - こまえ正吉苑エリア のがわのわ(令和4年1月から開始)
定例会11回開催 【定例会3回開催】

多世代・多機能型交流拠点事業 ※市委託事業 ※令和4年度新規

3月20日に開所し、令和4年度は主に見学会を行った。令和5年度から本格的に事業を開始する。

- ①実績
 - 開所日数 10日 見学会、フリースペースの実施 10日 子育てひろばの実施 2日
 - 利用者数 48名 見学者数 132名
- ②その他
 - 住民懇談会 4日間計6回開催 延35名の住民が参加
 - 開設準備のための定例会実施回数 15回

理事会等の開催

- 役員会 1回 【3回】
- 理事会 3回 【4回】
- 評議員会 3回 【3回】
- 監査 1回 【1回】

情報発信

- ①ホームページの運用
 - アクセス数 50,728件 【61,885件】

- ②ツイッターの運用
 - ツイッターフォロワー数(令和5年3月末) 787件 【598件】

課・係	事業内容	【 】内は令和3年度実績
-----	------	--------------

地域福祉課地域総務係

情報発信

③広報紙「社協だより」の発行

新聞折込3回 (No191、193、194)	発行部数	各24,000部	【3回	25,000部】
全戸配布1回 (No.192)	発行部数	45,000部	【1回	45,000部】

労働安全衛生関係

- 衛生委員会の開催 12回【12回】
- 産業医 加藤 一彦 氏 (かとうクリニック)

地域福祉課市民活動支援係

市民活動支援センターこまえくぼ1234 ※市指定管理事業

①相談機能

○新規相談件数 314件 (個人107件、団体207件) 【239件】

<内訳>

・新規活動相談	54件
・団体運営に関すること (助成金関係含む)	36件
・情報収集	98件
・情報発信	26件
・ボランティア・講師等の依頼、問合せ	40件
・寄付・寄贈	17件
・その他	43件

○専門相談

- ・専門相談会 2回【0回】

②拠点機能 (市民及び市民活動団体への支援)

○来館者数 6,607人 【4,167人】

○機材・物品の貸出 プロジェクターやスクリーン等の貸出 1件【0件】

○回収活動の推進

使用済みの切手を回収し市民活動の推進のために活用している。

- ・切手カフェ 全24回 参加者 延べ185名【全15回 延べ92名】
出入り自由のカフェ形式でボランティアを募り、回収された使用済み切手の整理を実施
- ・おうちで切手ボランティア (実施無) 参加者 0名【延べ24名】

○ボランティア保険・行事保険加入取りまとめ

- ・ボランティア保険加入者数 1,860件【1,844件】
(内天災プラン加入数 111件【110件】)
- ・行事用保険加入申込件数 117件【114件】
(内当日参加対応型加入数 35件【15件】)

○フリースペースの登録団体優先利用

- ・イベント利用 15件【19件】
- ・展示利用 5件【2件】

○登録団体・登録者数 団体 248団体 個人 131名【221団体 個人116名】
(うち社会貢献事業所登録 55件【39件】)

- ・登録団体説明会 2回 11団体

地域福祉課市民活動支援係

市民活動支援センターこまえくぼ1234 ※市指定管理事業

③情報収集・発信機能

- 広報紙「こまえくぼ1234」(11～21号)の発行 各号4,000部発行 (うち4回は9,500部)
※ボランティアによる発送準備、配布協力
- 広報誌「こまえがお」の発行
市民のボランティアからなる広報部会において編集・作成
 - ・市民活動情報紙わっこに「こまえがおmini」として掲載 4回【4回】
 - ・広報紙「こまえくぼ1234」に掲載 4回(17～20号) 【年4回】
- 屋外掲示板での市民活動団体の情報発信
 - ・登録説明会 1回 5団体
 - ・登録団体 20団体 掲示数 50件(8月以降)
- コマラジ番組出演での情報発信
 - ・番組名: KOMAE AM フライデーアートサーカス(毎週金曜日8:00～11:00放送)
 - ・番組内コーナー(狛江・生活情報コーナー)で市民活動団体を紹介
 - 市民活動支援センター出演 11回【12回】
 - 市民活動支援センター専門部会等出演 3回【3回】
 - 市民活動団体出演 27団体【23団体】
 - その他出演 3団体
- ホームページ・SNSの活用
 - ・ホームページ管理 アクセス数 137,905件【124,165件】
 - ・在宅入力ボランティア 11名【11名】
 - ・投稿サポーター 7名【7名】
 - ・登録団体の記事投稿数 316件【231件】

④交流・人材養成・研修機能

- 参加と協働市民推進フォーラム(狛江市市民参加と市民協働に関する審議会・狛江市共催)
「第6回狛江☆サミット「一歩踏み出すコミュニケーション～やさしく、かろやかに、あたたかく～」(11/6)」50名
- 夏の体験ボランティア事業
 - 「夏にはじめるちょこっと地域ふれあい体験」 参加者 41名【52名】
 - ・初めてのプログラミング体験 参加者 10名【10名】
 - ・見えない人の世界を知ろう 参加者 11名【5名】
 - ・聞こえない人とZoomでおしゃべりしてみよう 参加者 2名【14名】
 - ・力を合わせて狛江の街を花で盛り上げよう
(地域との連携で実施) 参加者 0名【23名】
 - ・親子で学ぶ狛江の防災 参加者 18名【令和4年度新規】
- 体験ボランティア事業
 - ・点字メニューを作ろう 夏の体験ボランティアとして実施 参加者 5名【5名】
- 日本語学習支援協力
 - ・参加者数 61名【34名】
 - ・被支援者 18名【13名】
 - ・支援学校名 第一小学校、第三小学校、第五小学校、第六小学校、緑野小学校、第一中学校、第二中学校
- 保育園・幼稚園との連携
 - 体験・見学等の体験学習実施 10件【8件】

地域福祉課市民活動支援係

市民活動支援センターこまえくぼ1234 ※市指定管理事業

- 小中学校との連携
体験・見学等の体験学習実施 10件【7件】
- 地域との連携
 - ・ 狛江市青少年第4育成委員会 車いす体験
 - ・ 力を合わせて狛江の街を花で盛り上げよう ベネッセ狛江南保育園5歳児クラス12名

⑤ネットワーク・マッチング

- 団体向け講座
 - ・ 「団体の未来を考えるプランを作ろう」(4/27) 参加者 2団体3名
 - ・ 「市民活動とお金」(7/2) 参加者 4団体5名
 - ・ 「人が集まるチラシと広報のコツ」(3/5) 参加者 7団体10名
- ごはんと居場所連絡会の支援 会議6回【会議6回】



団体向け講座「人が集まるチラシと広報のコツ」の様子

⑥関係機関との連携

- 北多摩南部ブロックボランティア市民活動支援センター担当者会議 3回【3回】
- 北多摩南部ブロックボランティア市民活動支援センター共催事業
「台風19号災害ボランティアセンターの振り返り」
- 介護予防等による地域づくり活動推進員連絡会 3回【3回】
- 狛江市地域学校協働活動推進委員会 2回【2回】

⑦その他

- 運営委員会 定例会4回【4回】
 - ・ 検討チーム 調査・研究 5回【4回】
 - きっかけ講座 3回【4回】
 - 社会資源の活用の推進 6回【5回】
- 専門部会
 - ・ 広報部会 ※センターが発行する広報誌「こまえがお」の編集を行う専門部会
活動者 6名【6名】
編集会議 8回【9回】
 - ・ ホームページ部会 ※センターのホームページの活用を推進していくための専門部会
活動者4名【4名】
会議 12回【10回】
ホームページ利用説明会(5/26) 参加者 6団体6名
ホームページ利用勉強会(6/4) 参加者 2団体2名【9団体9名】
ホームページ投稿相談会(10/6、12/8、1/15、3/23) 参加者 8団体11名
 - ・ 体験学習部会 ※体験学習プログラムを検討し推進していく専門部会
活動者9名【9名】
会議18回(イベント・撮影を含む)【12回】
- 第1回こまえくぼ1234フェスティバル【令和4年度新規】
 - ・ 第1回 6/18 参加者 約400人
 - ・ 第2回 11/6 参加者 約2600人
 - ・ こまえくぼ1234応援隊 6回

地域福祉課相談支援係

地域包括支援センター ※市委託事業

○総合相談件数	延	5,396件	【5,774件】	
うちエリア外対応	延	21件	【18件】	
○新規相談件数	延	301件	【304件】	
○月平均介護予防給付管理数		118件	【124件】	(自社作成分)
		10件	【7件】	(居宅委託分)
月平均介護予防ケアマネジメント数		99件	【89件】	(自社作成分)
		6件	【5件】	(居宅委託分)
○虐待対応	実件数18件	対応数	53件	【実件数9件 対応数61件】
○権利擁護	実件数38件	対応数	165件	【実件数11件 対応数400件】
※成年後見申し立て支援、消費者被害対応、困難事例対応（サービス拒否、多問題家族、経済的困窮等）を含む。				
○介護予防普及啓発事業		36回	【36回】	
内訳	運動	30回	【30回】	
（あいとぴあセンター、多摩川住宅イ号棟・二号棟集会室）				
ウォーキング講座		6回	【6回】	
○認知症カフェ（KOMA CAFE+）		12回	【1回】	
○認知症サポーター養成講座		6回	【2回】	
○介護者の集い		12回	【11回】	
○ケアマネジャー支援		延322件	【延297件】	
○民生委員との懇親会・定例会		1回	【1回】	
○家族介護者支援事業		2回	【2回】	
○実習生受入れ				
・慈恵第三看護専門学校		6名	【0名】	
・慈恵医大看護学科		4名	【4名】	
○地域ケア会議（個別ケア会議）		3件	【1件】	
○居場所づくり 大人の社会科見学「コーヒー講座」		2回	【令和4年度新規】	
○ICTを活用した健康予防事業		6回	【令和4年度新規】	
○ケアマネジャー向け研修		2回	【1回】	
○ケアマネジャー向け事例検討会		1回	【1回】	



コーヒー講座の様子

あんしん狛江 ※東社協委託事業・市委託事業

地域福祉権利擁護事業 ※東社協委託事業

①専門員配置数		2名	【2名】	
②生活支援員登録者数		14名	【14名】	
③契約者数	新規契約件数	8件	【10件】	
	解約件数	10件	【7件】	
	契約件数（3月末）	57件	【59件】	
④相談件数（問い合わせ・継続相談等）		1,940件	【2,859件】	
⑤契約に基づく支援件数		1,185件	【1,294件】	

地域福祉課相談支援係

あんしん狛江 ※東社協委託事業・市委託事業

福祉サービス総合支援事業 ※市委託事業

①業務担当者配置数	1名【1名】
②利用者サポート事業	
○福祉サービスの利用に際しての苦情対応	1件【2件】
○成年後見制度の利用相談	1,864件【1,515件】
※うち件は申立支援相談件	229件【273件】※実人数52名【57名】
○その他福祉サービスに関する専門的な相談	73件【133件】
③福祉サービス利用援助事業	
○対象拡大契約件数	4件【4件】
○対象拡大支援件数	62件【56件】
○減免対象者の支援件数	53件【58件】
④苦情対応専門相談の設置	
○弁護士による専門相談	21件【18件】
⑤あんしん狛江運営委員会	4回【3回】

生活福祉資金貸付事業 ※東社協委託事業

<生活福祉資金>

①相談件数	455件【265件】
○新規貸付相談	33件【21件】
○継続貸付相談	311件【161件】
○償還関係	98件【79件】
○その他	13件【4件】
②貸付決定件数・金額	3件 1,036,000円【0件 0円】
○福祉資金	3件 1,036,000円【0件 0円】
・福祉費	2件 457,000円【0件 0円】
・教育支援資金	1件 579,000円【0件 0円】
・緊急小口資金	0件 0円【0件 0円】
○総合支援資金	0件 0円【0件 0円】
・生活支援費	0件 0円【0件 0円】
・住宅入居費	0件 0円【0件 0円】
・一時生活再建費	0件 0円【0件 0円】
○要保護向け不動産担保型生活資金	0件 0円【0件 0円】

<新型コロナウイルス感染症に伴う特例貸付>

①相談件数	989件【2,671件】
○貸付相談	437件 ※令和4年9月申請受付終了
○償還相談	552件 ※令和5年1月から順次償還開始

課・係	事業内容	【 】内は令和3年度実績																				
地域福祉課相談支援係																						
生活福祉資金貸付事業 ※東社協委託事業																						
<p>②貸付申請件数</p> <table border="0"> <tr> <td>○緊急小口資金（特例貸付）</td> <td>82件</td> <td>【344件】</td> <td>※令和4年9月末申請受付終了</td> </tr> <tr> <td>○総合支援資金（特例貸付）</td> <td>73件</td> <td>【324件】</td> <td>※令和4年9月末申請受付終了</td> </tr> <tr> <td>○総合支援資金（特例貸付）延長貸付</td> <td>0件</td> <td>【124件】</td> <td>※令和3年6月末申請受付終了</td> </tr> <tr> <td>○総合支援資金（特例貸付）再貸付</td> <td>0件</td> <td>【349件】</td> <td>※令和3年12月末申請受付終了</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>155件</td> <td>【1,141件】</td> <td></td> </tr> </table> <p>※貸付金額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急小口資金（特例貸付） 20万円以内 ・総合支援資金（特例貸付）（二人以上世帯）月20万円以内（単身世帯）月15万円以内 初回3月以内 延長3月以内 再貸付3月以内 			○緊急小口資金（特例貸付）	82件	【344件】	※令和4年9月末申請受付終了	○総合支援資金（特例貸付）	73件	【324件】	※令和4年9月末申請受付終了	○総合支援資金（特例貸付）延長貸付	0件	【124件】	※令和3年6月末申請受付終了	○総合支援資金（特例貸付）再貸付	0件	【349件】	※令和3年12月末申請受付終了	合計	155件	【1,141件】	
○緊急小口資金（特例貸付）	82件	【344件】	※令和4年9月末申請受付終了																			
○総合支援資金（特例貸付）	73件	【324件】	※令和4年9月末申請受付終了																			
○総合支援資金（特例貸付）延長貸付	0件	【124件】	※令和3年6月末申請受付終了																			
○総合支援資金（特例貸付）再貸付	0件	【349件】	※令和3年12月末申請受付終了																			
合計	155件	【1,141件】																				
新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金 ※市委託事業																						
<p>①相談件数 481件 【1,304件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新規相談 105件 【400件】 ○継続相談 376件 【904件】 <p>②申請件数 72件 【216件】</p>																						
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業 ※東社協委託事業																						
<p>貸付決定件数及び決定額の内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>○入学準備金</td> <td>0件</td> <td>0円</td> <td>【0件</td> <td>0円】</td> </tr> <tr> <td>○就学準備金</td> <td>3件</td> <td>1,500,000円</td> <td>【0件</td> <td>0円】</td> </tr> <tr> <td>○住宅支援資金</td> <td>0件</td> <td>0円</td> <td>【1件</td> <td>444,200円】</td> </tr> </table>			○入学準備金	0件	0円	【0件	0円】	○就学準備金	3件	1,500,000円	【0件	0円】	○住宅支援資金	0件	0円	【1件	444,200円】					
○入学準備金	0件	0円	【0件	0円】																		
○就学準備金	3件	1,500,000円	【0件	0円】																		
○住宅支援資金	0件	0円	【1件	444,200円】																		
受験生チャレンジ支援貸付事業 ※市委託事業																						
<p>①相談件数 670件 【385件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新規貸付相談 64件 【34件】 ○継続貸付相談 558件 【295件】 ○償還相談 48件 【56件】 <p>②貸付決定件数及び決定額</p> <table border="0"> <tr> <td>74件</td> <td>8,181,700円</td> <td>【39件</td> <td>4,500,800円】</td> </tr> <tr> <td>○塾代</td> <td>34件</td> <td>6,345,200円</td> <td>【19件 3,735,100円】</td> </tr> <tr> <td>○受験料</td> <td>40件</td> <td>1,836,500円</td> <td>【20件 765,700円】</td> </tr> </table> <p>③事業の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市内の学習塾へパンフレット配付等 20校 【20校】 ○中学校を通じたマチコミメールでの周知 ○市報、社協だよりへの掲載 ○公民館・地域センター等へのチラシの設置 ○都営粕江アパートへのチラシの掲示 ○市ホームページ、フェイスブック・ツイッター・インスタグラム・デジタルサイネージ掲載 ○社協ホームページ、ツイッターへの掲載 ○過去の利用者へのご案内送付 			74件	8,181,700円	【39件	4,500,800円】	○塾代	34件	6,345,200円	【19件 3,735,100円】	○受験料	40件	1,836,500円	【20件 765,700円】								
74件	8,181,700円	【39件	4,500,800円】																			
○塾代	34件	6,345,200円	【19件 3,735,100円】																			
○受験料	40件	1,836,500円	【20件 765,700円】																			

地域福祉課相談支援係

生活支援体制整備事業 ※市委託事業

○生活支援コーディネーターの配置	1名【1名】
○社会資源訪問調査	95件【93件】
○関係機関への周知・情報交換	333件【389件】
○他市見学・情報交換	3件【5件】
○個別相談	8件【8件】
○研修への参加	8回【7回】
○地域課題検討会議幹事会	2回【4回】
○地域課題検討会議及び生活支援体制整備協議会	2回【1回】
○介護予防等による地域づくり活動推進員連絡会	4回【4回】
○シニアの生活支援ネットワーク連絡会	1回 ※令和3年度はCSWと共催で実施

電話訪問活動支援 ※「狛江電話訪問はとの会」が行う、高齢者の見守り活動を支援

「狛江電話訪問はとの会」は、高齢者等に電話をかけお話し相手や安否確認を行うことを通じて、孤独の解消や見守りを目指している。

公開講座（年1回実施）は、新型コロナウイルス感染症の予防のため実施しなかった。

心身障害児（者）緊急一時保護事業 ※市委託事業

○実施件数	102件【144件】
○介護形態別内訳	登録介護人によるもの 91件【143件】
	協力施設によるもの 11件【1件】
○利用登録者	69名【63名】
○障がい別内訳	身体障がい 10名【9名】
	知的障がい 38名【33名】
	精神障がい 3名【3名】
	重複障がい 18名【18名】
	難病 0名【0名】
○登録介護人	48名【46名】
○登録介護協力施設	4か所【4か所】
社会福祉法人光友会ひかり作業所、NPO法人ハッピーライフフォーエバー、NPO法人バリアフリーセンター福祉ネット「ナナの家」、NPO法人アビリティクラブたすけあい狛江たすけあいワーカーズなかよし	

ホームヘルプサービス事業

①登録訪問介護員等			
ホームヘルパー	16名【13名】	認定ヘルパー	9名【6名】
○ヘルパー会議	10回【7回】		
②総合事業			
○利用者数	延 390名【382名】		
○サービス提供件数	延 1,649件【1,724件】		
○サービス提供時間	延 1,596時間【1,652時間】		

課・係	事業内容	【 】内は令和3年度実績
地域福祉課相談支援係	ホームヘルプサービス事業	
	③認定ヘルパー養成研修(市委託)	
	○実施期間 6/22～6/24	修了者数 16名【8名】
	○実施期間 10/19～10/21	修了者数 11名【6名】
○実施期間 2/14～2/16	修了者数 5名【9名】	
	居宅介護支援事業	
	介護支援専門員 2名【2名】	
	○月平均給付管理者数	68名【65名】
	○認定調査受託	8件【0件】
○実習生受入れ（東京慈恵会医科大学医学部看護学科）	4名 4日間【4名 4日間】	

サービス事業課障がい支援係

障害者福祉センター ※市委託事業

①歯科相談

- 開設日数 8日【8日】
- 相談件数 延113件【延124件】
- 相談員 狛江市歯科医師会歯科医 4名【4名】
中塚 知明氏、野村 泰生氏、名古屋 浩章氏、長谷川 泰氏
- 歯科衛生士 3名【3名】
富士松 さゆり氏、松原 かずみ氏、和泉 弥生氏
- はみがき講習会 実施回数 7回【1回】 参加者数 延59名【延10名】
- ブラッシング指導 実施回数 24回【27回】 参加者数 延235名【延258名】

②自立支援総合相談

障害者地域自立生活支援センターサポート（23ページ）に記載

障害者地域自立生活支援センター サポート ※市委託事業

①支援延べ件数 ※（ ）内はうちピアカウンセリング件数 3,502(667)件【5,251(584)件】

- 福祉サービスの利用等に関する支援 787(6)件【2,314(17)件】
- 障害や病状の理解に関する支援 262(55)件【382(80)件】
- 健康・医療に関する支援 357(10)件【575(11)件】
- 不安の解消・情緒安定に関する支援 598(220)件【853(261)件】
- 保育・教育に関する支援 95(0)件【126(0)件】
- 家族関係・人間関係に関する支援 244(17)件【180(2)件】
- 家計・経済に関する支援 90(1)件【153(0)件】
- 生活技術に関する支援 144(33)件【117(16)件】
- 就労に関する支援 95(0)件【71(0)件】
- 社会参加・余暇活動に関する支援 142(16)件【75(10)件】
- 権利擁護に関する支援 95(0)件【5(0)件】
- その他 593(309)件【400(187)件】
- ピアカウンセリング ※再掲 667件【584件】

②社会生活力向上のための支援

- 各種研修・ワークショップ2回【0回】
 - ・自立生活プログラム公開講座 26名
 - ・「親なきあと」講演会 43名
- 自立生活プログラム 5回参加者実4名延19名【5回実4名延19名】
- フリースペース 26回延111名【17回延85名】※今年度より第5土曜日も開催

③地域支援

- 上手いもの市 2回（各2日間） 出店各8団体【1回 出店8団体】
- 上手いもの市実行委員会 2回【4回】

④狛江市地域自立支援協議会への参画

- 狛江市地域自立支援協議会 3回【3回】
- 狛江市地域自立支援協議会検討会議 4回【4回】
- 狛江市地域自立支援協議会当事者部会ペガサス 役員会 6回【5回】
- 狛江市地域自立支援協議会当事者部会ペガサス 全体会 1回【0回】
- 狛江市地域自立支援協議会当事者部会ペガサス イベント 1回【1回】



大勢の人でにぎわう「上手いもの市」(狛江駅)

サービス事業課障がい支援係

障がい者就労支援センター サポート ※市委託事業

①就労支援登録者 203名 (就労中136名 うち新規就労39名) 【187名 うち就労中100名】

②相談支援件数

<就労支援>

- ・ 職業相談 延1,738件 【延1,247件】
- ・ 就職準備支援 延 665件 【延917件】
- ・ 職場開拓件数 延 10件 【延85件】
- ・ 職場実習 延 26件 【延9件】
- ・ 職場定着支援 延2,273件 【延1,507件】
- ・ 離職支援 延 58件 【延17件】

<中間的就労>

1名 【1名】

<生活支援>

- ・ 日常生活支援 延 188件 【延287件】
- ・ 安心して職業生活を続けられるための支援 延 136件 【延220件】
- ・ 豊かな社会生活を築く為の支援 延 364件 【延478件】
- ・ 将来設計相談 延 5件 【延2件】

<訓練等実績>

- ・ 委託訓練 延 0件 【延1件】
- ・ 職場実習 延 2件 【延4件】

<職場体験実習>

第1回 (社会福祉協議会) 9/28~10/5 6日間 (実習生2名) 【0日間0名】

第2回 (狛江市役所) 11/3~12/2、12/7~12/9 6日間 (実習生1名) 【5日間2名】

③関係機関情報交換会

2回 【2回】

障がい者就労支援情報交換会

(参加機関) ひかり作業所、こまえ工房、ワークイン・メイ、パサパ、ワークひなた
狛江市福祉保健部高齢障がい課、ハローワーク府中

④関係機関会議等

- 東京都障害者就労支援関係機関意見交換会 1回 【1回】
- 多摩地域就労支援事業実施団体連絡会議 3回 【3回】
- 障害者雇用連絡会議 0回 【0回】
- 精神障害者就労支援定着連絡会 2回 【2回】
- 多摩就労支援ネットワーク連絡会議 1回 【3回】
- TALANT連絡会議 0回 【1回】
- 多摩北部ブロック就労支援を考える会 2回 【令和4年度新規】
- 障害者就業・生活支援センター長会議 1回 【令和4年度新規】

サービス事業課障がい支援係

障がい者就労支援センター サポート ※市委託事業

⑤講演会・セミナー

<ミニ講演会>

○就労促進ミニ講演会「就労のためのビジネスマナー（10/17）」参加者10名【11名】

講師：唐澤 真菜氏（東京障害者職業センター多摩支所職員）

○就労促進ミニ講演会「職場での人間関係（11/5）」参加者11名【8名】

講師：山本 良典氏（東京都心身障害者福祉センター職員）

○就労促進ミニ講演会「寸劇を見て学ぶ人間関係（11/26）」参加者9名【8名】

講師：劇団グスタフ

<障がい者就労理解を促進するための市民向け講演会>

○障がい者就労促進講演会・見学会（11/2）参加者 9名 【9名】

講師：SOMPOチャレンジド株式会社 武藤 圭子氏

<障がい者就労促進講演会>

○障がい者就労促進講演会（11/14）参加者 10名【10名】

講師：堀江車輛電装株式会社 担当者

<就労アカデミー>

1回目：生活リズムを整える（7/8）参加者 7名 【延3名】

2回目：就労準備のポイント（7/16）参加者 8名 【延0名※中止】

⑥地域開拓促進コーディネート

○個別相談支援件数

- ・ 就労相談 延 90件【延 94件】
- ・ 職場開拓件数 延 4件【延 50件】
- ・ 登録者の職場定着支援 延 80件【延 52件】

○就職希望者、企業の掘り起し

- ・ 企業訪問件数 延 57件【延 45件】
- ・ 福祉施設訪問件数 延 358件【延343件】
- ・ 見学会等への参加 14社【12社】

※地域開拓促進コーディネートとして、上記件数に次の中間的就労（短時間雇用）開拓のための活動件数を含む。

- ・ 求職者の就労相談件数 延 11件【令和4年新規】
- ・ 企業等の開拓件数 延 15件【令和4年新規】

特定相談支援事業

○利用契約者人数（3月末）	特定相談	139名【148名】
	児童計画相談	33名【52名】
○サービス等利用計画作成件数	特定相談	91件【120件】
	児童計画相談	54件【50件】
○モニタリング件数	特定相談	407件【446件】
	児童計画相談	131件【149件】
○相談支援事業所連絡会への参加		24回【24回】

福祉有償運送事業

○利用登録者数	40名【41名】
○運行回数	延1,004件※うち児童送迎は延436件【延 756件※うち児童送迎は延329件】

課・係	事業内容	【 】内は令和3年度実績
<p>サービス事業課早期療育係</p> <p>あいとぴあ子ども発達教室“ぱる”</p> <ul style="list-style-type: none"> ○開所日数 244日【244日】 ※集団・プール療育実施回数 337回【315回】 ※グループの内訳は以下のとおり 月、火、水（午前・午後）・木（午後）、金プール（A・Bグループ） ○通所児童 定員 63名（10名×6グループ、3名×1グループ）【80名】 実利用人数 50名【49名】 通所人数（集団・プール療育）延1,335名【延1,219名】 ○新規利用開始児童 19名【15名】 ○個別指導（個別療育） 延324名【延270名】 内訳）言語療法134名【116名】 理学療法64名【51名】 作業療法126名【103名】 ○ペアレント・トレーニング 24回延67名【31回 延110名】 ※対象年齢を4、5歳児とし、月1回の開催とした（毎年受講している人が多いため）。 年度途中から通所を開始した保護者のために、個別で補習講座を行った。 ○ママのおしゃべり会 1回 7名 【3回 延9名】 ※名称を「お母さんグループ」から「ママのおしゃべり会」に変更した。 ○心理相談 22名【25名】※軽易な相談や保護者見学時の説明等は集計せず。 ○保護者相談（電話相談含） 延195名【延85名】 ○保護者会 2回 10名【0回】 ※名称を保護者懇談会として午前グループの保護者を対象に実施した。 ○個人面談 109回【78回】 ○行事（遠足） 1回 参加者10名（親子5組）【1回 参加者18名】 ○家族参観日 33回 48名【27回 50名】※「参観月間」として年2回実施した。 ○専門職連携会議 1回【3回】 ○スタッフカンファレンス 1回【2回】 ※名称を全体カンファレンスからスタッフカンファレンスに変更して実施した。 ○見学受入れ（延べ） 利用希望者 28名【29名】 関係機関 1名【2名】 ○関係機関実習生受入れ 延4名【延4名】 ○卒業面談 14名【12名】 ○終了面談 2名【6名】 ○初回面談 19回【15回】 ○幼稚園訪問 5回【0回】 内訳：染地幼稚園（2回）、狛江こだま幼稚園（2回）、聖セシリア喜多見幼稚園（1回） ○保育園訪問 3回【1回】 内訳：めぐみの森（2回）、駒井町みんなの家（1回） ○プール指導 5回【4回】 ○スタッフ研修 2回【2回】 ○市民・関係機関からの発達相談及び情報共有 延216件【延211件】 ○就学支援会議 1回【1回】 ○関係機関会議 13回【7回】 ○パパぱる 2回 参加者14名（親子7組）【2回参加者15名（親子7組＋父1人）】 ※8月の土曜日に実施。父親と通所児がペアで来所し、父親は心理職によるペアレント・トレーニングを、児童には療育プログラムをそれぞれ実施。プログラムの最後に実践編としてぱるの部屋で合流し、父親が子どもを褒める時間を設けた。 		

課・係	事業内容	【 】内は令和3年度実績
-----	------	--------------

サービス事業課早期療育係

あいとぴあ子ども発達教室 “ぱる”



- 夏ぱる 参加者61名【令和4年度新規】
 ※8/8(月)～8/25(木)までの11日間、1日9名(3名×3グループ)の少人数で
 通常の所属グループとは違う集団療育を実施した。
 テーマ遊びは1週間ごとに「夏まつり」「段ボール迷路」「夏の製作」を設定した。
 ※令和3年度に実施した「個別療育プログラム」を「夏ぱる」に変えて試行した。
- 先輩お母さんの話 12名【9名】
 ※今年度は4歳児、5歳児の保護者対象に実施した。

サービス事業課知的障がい者通所訓練係

生活介護事業 麦の穂

○開所日数	231日	【222日】
○利用者	15名 延3,201名	【15名 延3,044名】
○保護者会	8回	【6回】
○個別面談	6日間	【6日間】
○行事	6回	【3回】
○ケース会議	10回	【10回】
○利用者定期健康診断	1回	【1回】
○嘱託医相談	11回	【9回】
○体育館活動	8回	【7回】
○3B体操	11回	【2回】
○資源物回収活動	16回	【19回】
○プール活動	32回	【23回】
○宅配弁当活動	10回	【8回】
○喫茶活動	34回	【20回】
○音楽会	3回	【2回】
○おやつ会	17回	【12回】
○ビデオ鑑賞	35回	【32回】
○自主製品販売	3回	【2回】
○自主製品公民館展示	2週間	【2週間】
○障がい者週間自主製品展示販売	2日間	【2日間】
○消防避難訓練	2回	【2回】
○送別会	5回	【令和4年度新規】
○政見ビデオ鑑賞	1回	【令和4年度新規】
○模擬投票	1回	【令和4年度新規】
○専門指導		
作業療法	2回	【2回】
音楽療法	4回	【4回】
織り	3回	【3回】
造形	4回	【4回】
スーパービジョン	4回	【4回】
理学療法	4回	【3回】
○歯磨き指導	4回	【6回】

課・係	事業内容	【 】内は令和3年度実績
サービス事業課知的障がい者通所訓練係		
生活介護事業 麦の穂		
	○歯科相談	2回 【2回】
	○新型コロナウイルスワクチン接種	2回 【3回】
	○インフルエンザウイルスワクチン接種	1回 【1回】
	○実習生受入れ	1名 【1名】
	○ボランティア活動受入	
	織りボランティア	5回延22名 【5回延22名】
	○見学者	24名 【2名】
	○職員研修会	
	自閉症スペクトラム障害専門研修会	0名 【6名】
	強度行動障害支援者養成研修会基礎編	1名 【1名】
	てんかん講座研修会	3名 【1名】
	サービス管理責任者研修会	1名 【1名】
	虐待防止研修会	12名 【令和4年度新規】
	○東京都福祉サービス第三者評価受審	

課・係	事業内容	【 】内は令和3年度実績
プロジェクトチーム等		
小地域福祉活動の推進		
<p>①岩戸地域ネットワーク活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○岩戸地域福祉推進委員会 全体会 3回【3回】 ○お茶のみ会 12回 参加者延139名【7回 延65名】 <p>②猪方駒井地域ネットワーク活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○猪方駒井地域福祉推進委員会 全体会 1回【1回】 ○おしゃべりサロン 11回 参加者延407名【3回 延95名】 <p>③野川地域ネットワーク活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○野川地域福祉推進委員会会議 11回【12回】 ○サロン野川 10回 参加者延282名【4回 延100名】 <p>④和泉地域ネットワーク活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○“サロンいずみ”をささえる会への支援（中和泉5丁目） <ul style="list-style-type: none"> ・サロンいずみ 5回 参加者延38名【1回 延4名】 ○いずみサロン運営委員会への支援（西和泉2丁目） <ul style="list-style-type: none"> ・いずみサロン 4回 参加者延86名【1回 延25名】 ・運営委員会 4回 【2回】 ○ふれあい西の和泉への支援（西和泉1丁目） <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい西の和泉 活動終了【2回 延46名】 		
		
<p>スペイン舞踊を楽しむサロン野川の参加者の皆さん</p>		
災害時の対応		
<p>○災害対応検討プロジェクトチーム会議 3回【0回】</p> <p>職員の防災意識及び災害対応能力を高めるとともに、地震等の災害に対応するために必要な事項について協議及び検討を行うことを目的に設置した。7名の職員で構成している。</p> <p>○災害ボランティアセンターの周知活動及び災害に関する勉強会 2回【0回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おやこでまなぶ狛江の防災(8/27) ・こまえくぼフェスティバル(11/6) <p>○災害ボランティアセンター設置運営訓練・その他訓練の参加 2回【1回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狛江市総合水防訓練(6/12) 参加職員8名 狛江市からの応援要請を想定し、職員の参集訓練を実施した。また、市内3か所の避難所で職員が訓練に参加した。 ・狛江市総合防災訓練(10/30) 参加職員6名 災害ボランティアセンターの設置運営を行い、災害時の協力に関する協定を締結している狛江青年会議所の方2名にも参加いただいた。また、狛江市からの応援要請を想定し、市内避難所で行われた災害支援物資の仕分け訓練に職員が参加した。 		
		
<p>災害ボランティアセンター設置運営訓練の様子</p>		

課・係	事業内容	【 】内は令和3年度実績
プロジェクトチーム等		
地域福祉活動計画の進捗管理関係（地域福祉活動計画策定プロジェクトチーム）		
<p>○地域福祉活動計画策定プロジェクトチーム会議 1回（1/18） 【0回】 各部署から選出された職員からなるプロジェクトチームの会議。地域福祉活動計画の策定のほか、計画の推進等のため作業・検討を行う。</p> <p>○地域福祉活動計画進捗状況報告会 1回（2/3） 【0回】 地域福祉活動計画の進捗状況についての確認と内部評価を行う会議</p>		
広報活動		
<p>①広報紙「社協だより」の発行 ※再掲 新聞折込3回（No191、193、194） 発行部数 各24,000部 【3回 25,000部】 全戸配布1回（No.192） 発行部数 45,000部 【1回 45,000部】</p> <p>②マスコットキャラクター出演 ・ぽかフェス（ぽかぽか広場オープニングイベント）（6/4） ・赤い羽根共同募金運動街頭募金（9/3）</p> <div data-bbox="1098 752 1385 954" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1075 958 1417 985">粕江市のイベント「ぽかフェス」に出演</p>		
その他		
事業のあり方検討委員会		
<p>①事業のあり方検討委員会 4回【令和4年度新規】 地域共生社会の実現及び福祉のまちづくりを推進するために既存事業の課題を整理し見直しを検討する委員会。</p> <p>②事業のあり方検討委員会作業部会 26回【令和4年度新規】 各部署から選出された職員及び市職員等で構成。6つの部会があり、事業のあり方や見直しについて検討し、委員会へ報告を行うための作業部会。</p>		
粕江市社会福祉法人連絡会への参画		
<p>市内7つの社会福祉法人が加盟（平成29年度発足）</p> <p>○福祉なんでも相談 福祉に関する相談窓口「福祉なんでも相談」を加盟7法人で開設。</p> <p>○フードドライブ事業への協力 加盟法人（1/10～1/24）で回収した食品325.8kgをフードバンク粕江に寄贈した。</p> <div data-bbox="1187 1505 1503 1697" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1187 1711 1493 1765">各法人で集められた食品をフードバンク粕江に寄贈</p>		
実習生受入れ		
ソーシャルワーク実習（法政大学） 1名（9月5日から実施） 【1名】		

